

「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」

第2回研究講演会

『日本列島における初期都市化の比較—博多湾岸と大阪上町台地』

この研究講演会は、今年2月開催の『難波宮前の上町台地の都市化—とくに物資(木材等)の需給から』の第二弾にあたります。大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地は、日本列島で他に先駆けて都市化がすすむ特異な場所です。本研究は、三地域の比較研究により、発掘資料からいかに都市化の過程を実証的に明らかにできるかをめざしています。

今回は法円坂倉庫群・難波屯倉から難波長柄豊碓宮へいたる上町台地、比恵・那珂遺跡群や那津官家などを擁する博多湾岸の二地域の比較に焦点を絞ります。これらの地域ではとくに、経済史的視点もたいせつになると思われれます。前回の建築資材などの木材に次いで、人口を支えるもっとも大切な食糧の需給の問題も取り上げます。本会には、西アジアの都市誕生に詳しい小泉龍人氏にご参加いただきます。

研究者はもとより、考古学や歴史に関心のある多くの方々のご参加をお待ちします。

~~~~~

趣旨説明 (12:30-12:35)

報告1「列島最古の「都市」化—比恵・那珂遺跡群と博多湾岸の遺跡動態」

久住猛雄 (福岡市経済観光文化局文化財部) (12:35-13:20)

報告2「那津官家から筑紫館 都市化の第二波」 (13:20-14:05)

菅波正人 (福岡市経済観光文化局文化財部)

報告3「大阪上町台地の都市化と博多湾岸の比較—ミヤケとの関連」 (14:15-15:00)

南 秀雄 ((公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)

報告4「都市化を支えた食糧—実証的研究の試み」 (15:00-16:00)

大庭重信 ((公財)大阪市博物館協会 大阪文化財研究所)

丸山真史 (東海大学海洋学部)

.....

質疑応答 (16:10-16:50)

コメント 小泉龍人氏 (東京大学東洋文化研究所 西アジア考古学)

司会 杉本厚典 (大阪歴史博物館)



日時: 2017(平成29)年12月2日(土) 12時30分~16時50分 (12時開場)

場所: 大阪歴史博物館4階講堂 (大阪市中央区大手前4-1-32 TEL. 06-6946-5728)

定員: 250名(当日先着順)

参加費: 無料

主催・問合せ: (公財) 大阪市博物館協会 大阪文化財研究所

(TEL. 06-6943-6833 平日 9:00~17:00)

本会は、科学研究費助成事業基盤研究C「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」(研究代表:南秀雄)によるものです。